

2026

スプリングフェスタ

3.21

世界人形劇の日

3月21日は
世界人形劇の日です。
人形劇と一緒に
楽しみましょう。

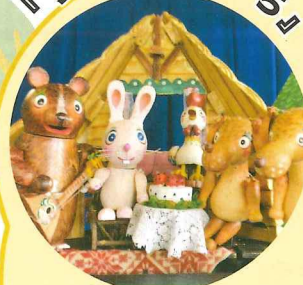
大阪市内のあちこちで楽しい人形劇がみられるよ！

『瓜子姫とあまんじゅ』 『おおかみと七ひきのこせき』



大阪市立大淀コミュニティセンター
開演 11:00/14:00

『うさぎのおうち』



『ゴリラのパンやさん』



大阪市立旭区民センター・小ホール
開演 14:30

3/29
(日)

5/2
(土)

4/29
(水・祝)

5/5
(火・祝)

『さかないっぴきなまの美味』



大阪キリスト教短大附属
グレース幼稚園
開演 11:00

『ふつうのくま』



『へびくんのおさんぽ』



人形劇団クラルテアトリエ
開演 11:00/14:00

春のアトリエのがい

『おまえうまそうだな』



スタンプラリー

2会場でスタンプを集めた方にプレゼント差し上げます

スプリングフェスタ

各会場で『ミニこいのぼりをつくっておよがせよう!』

3/29

(日)

会場

大阪市立大淀コミュニティセンター 1Fホール

共催

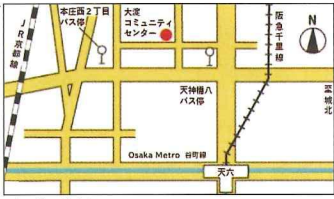
大阪市コミュニティ協会 北区支部協議会

開演

11:00/14:00

入場料

前売 1,300円 当日 1,500円 定員 120名



大阪メトロ「天神橋筋六丁目」駅 11番出口より北へ徒歩9分 (大阪市北区本庄東 3-8-2)

日本の昔話 『瓜子姫とあまんじゃく』

脚本：吉田清治

昔むかし、あるところに爺さんと婆さんがいました。婆さんが川へ洗濯にいくと、川上から箱が2つ流れてきました。箱の中にはどっかい瓜がひとつ。その瓜を切ってみると、なんと可愛い赤ん坊がとびだしました。やがて赤ん坊は、美しい瓜子姫になりました。

グリム童話より 『おおかみと七ひきのこやぎ』

原作：グリム

森の中におかあさんやぎと七ひきのこやぎが住んでいました。ある日、おかあさんやぎはおつかいで出かけました。しばらくして、とびらをドンドンたたくものがあります。狼だ、狼だ、さあ大変!

4/29

(水・祝)

会場

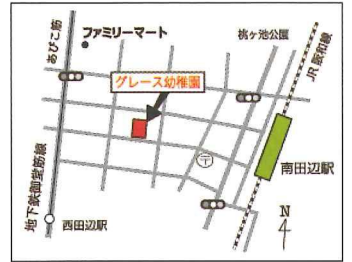
大阪キリスト教短大附属 グレース幼稚園

開演

11:00

入場料

前売 1,300円 当日 1,500円 定員 80名



JR 阪和線「南田辺」駅より西へ300m (大阪市阿倍野区昭和町 4-3-13)

現代作家の絵本から 『さかないっぴきなまのママ』

原作：佐野洋子 (フレーベル館刊)

ねこのこどもは散歩に出かけました。友達ほしいなと思っていたのですが、最初にであったのは長くてよるよるしたへびでした。ともだちができた嬉しさが伝わってくる作品です。

現代作家の絵本から 『ふつうのくま』

原作：佐野洋子 (講談社刊)

くまの家には昔から空を飛ぶ赤い布がありました。でもこの布に乗って空を飛んだくまはおじいさんのおじいさんのおじいさんくらいで、ふつうのくまはみんな飛びたいと思うけれど飛べませんでした。ある日くまは赤い布をもって出かけました。そして…?

5/2

(土)

会場

大阪市立旭区民センター 2F 小ホール

開演

14:30

入場料

前売 1,300円 当日 1,500円 定員 120名



大阪メトロ「千林大宮」駅 4番出口より南西へ徒歩10分 (大阪市旭区中宮 1-11-14)

ロシアの昔話 『うさぎのおうち』

脚本：松本剛子

うさぎは長い冬を過ごすためにおうちを作ります。それを見てクマもイヌもニワトリも慌てておうちを作ります。でもキツネはうさぎのおうちを横取りしてしまいます。大事なおうちを取り返せるかな? 木彫りの人形がロシアの楽器バラライカの音に合わせてお届けします。

現代絵本から 『ゴリラのパン屋さん』

原作：白井美香子 原画：渡辺あきお

ゴリラくんがかわいいパン屋さんを開店! おいしいそうなおい! でもお客さんはみんな怖がって逃げてしまい、がっかりしょんぼり。ゴリラのパン屋さんにお客さんは来てくれるのでしょうか?

5/5

(火・祝)

会場

人形劇団クラルテアトリエ

開演

11:00/14:00

入場料

1,500円 定員 80名



大阪メトロ「住之江公園」駅南4番出口より南東へ徒歩7分 (大阪市住之江区南加賀屋 3-1-7)

人形劇の他にも お楽しみ企画があります! 遊びのコーナーなど

現代絵本から 『へびくんのおさんぽ』

原作：いとうひろし (すずき出版刊)

のっそりのそのそ によろりん♪ によろりん♪ お散歩大好きなへびくん。雨上がり、原っぱに行くと、水たまりがいっぱいでした。によろりん〜とへびくんが渡るうすと…。

現代絵本から 『おまえうまそうだな』

原作：宮西達也 (ポプラ社刊)

迷子の卵からアンキロサウルスの子どもが生まれました。そこへやってきたのは、おなかをすかせたティラノザウルス。昔、恐竜が住んでいた世界で出会った2人(?)のちょっとおかしくて心温まるお話。